

平成24年度 アクションプログラム実施メニュー表

沖縄森林管理署

取組名	「古事の森づくり」支援（森林環境教育の実施等）（継続）	
流域名	沖縄北部流域	
重点事項番号	② - 23、⑥ - 61、⑥ - 62	
取組の背景及び必要性	沖縄県の首里城復元、修復に使用されるイヌマキ材の生産（供給）について、「古事の森」制度により「首里城古事の森育成協議会」を設立して森林管理署と協定を締結（H 20.11月）し、イヌマキを植栽する取組を行う。	
取組の内容	<p><b>【全体の取組内容】</b>          取組予定期間：H 20年度～H 24年度          取組内容：平成20年度～平成22年度の3年間で、イヌマキ400本を植栽し、その後、施肥、保育、害虫駆除等の取組を実施。</p> <p><b>【これまでの取組内容】</b>          (1) イヌマキ400本を植栽          (2) 植栽木の保育活動（施肥等）          (3) 病害虫「キオビエダシヤク」の駆除          (4) 首里城古事の森を活用した森林環境教育等を実施</p> <p><b>【平成24年度の取組内容】</b>          (1) イヌマキ等植栽木への施肥          (2) 植栽木の保育活動（下刈り等）          (3) 病害虫「キオビエダシヤク」の駆除          (4) 首里城古事の森を活用した森林環境教育等の実施</p>	
国有林担当部局・役割	沖縄森林管理署 (施肥・保育等指導、森林環境教育の実施)	
連携協働相手先・役割	地元小学校、首里城古事の森育成協議会 (施肥や保育活動等)	
普及宣伝方法	マスコミ等へプレスリリースを実施する。	
期待する成果	(1) 児童の森林の働き等についての理解が深まる。 (2) イヌマキの施業方法や病害虫「キオビエダシヤク」の防除方法の確立等	
取組目標	(1) 教育関係機関と連携した森林環境教育の推進 (2) イヌマキの保育及び「キオビエダシヤク」の駆除等	
取組経費概算見積り（単位：千円）		
取組の概要（積算内訳）	国有林負担	相手先負担
(1) 現地までの交通費等 (2) 施肥・保育等に係る準備費（肥料等） (3) 歩道整備等（労賃） (4) 害虫駆除等（労賃・殺虫剤等）		
合 計		

平成24年度 アクションプログラム実施メニュー表

沖縄森林管理署

取組名	生物多様性保全のための共同研究の取組（継続）	
流域名	沖縄北部、宮古八重山流域	
重点事項番号	⑤ - 53	
取組の背景及び必要性	南西諸島は希少野生動植物種の宝庫とされ、生物の多様性は極めて高く、国有林はその希少な野生動植物種の重要な生息地となっているため保全が必要である。	
取組の内容	<p>&lt;沖縄北部流域における取組&gt;  <b>【取組予定期間】</b>：H 22 年度～H 24 年度  <b>【これまでの取組内容】</b>                  (1) 自動撮影カメラ調査（対象種：ヤンバルテナガコガネ・ヤンバルクイナ・ノグチゲラ）による共同研究を実施                  (2) 国有林内における生息地の把握及び生息環境保全の取組  <b>【平成24年度の取組内容】</b>                  (1) 自動撮影カメラ調査による共同研究                  (2) 生息地の把握及び生息環境の保全</p> <p>&lt;宮古八重山流域における取組&gt;  <b>【取組予定期間】</b>：H 22 年度～H 24 年度  <b>【これまでの取組内容】</b>                  (1) 自動撮影カメラ調査（対象種：イリオモテヤマネコ）による共同研究を実施                  (2) 生息地の把握及び生息環境の保全  <b>【平成24年度の取組内容】</b>                  (1) 自動撮影カメラ調査による共同研究                  (2) 生息地の把握及び生息環境の保全</p>	
国有林担当部局・役割	沖縄森林管理署 (データ収集及び取りまとめ)	
連携協働相手先・役割	<沖縄北部流域> 研究機関等 (データ解析及び研究助言) <宮古八重山流域> 研究機関等 (データ解析及び研究助言)	
普及宣伝方法	署ホームページに掲載等	
期待する成果	生物多様性保全の普及啓発等	
取組目標	森林における生物多様性の保全	
取組経費概算見積り（単位：千円）		
取組の概要（積算内訳）	国有林負担	相手先負担
合 計		

